



Japan Society for Tobacco Control

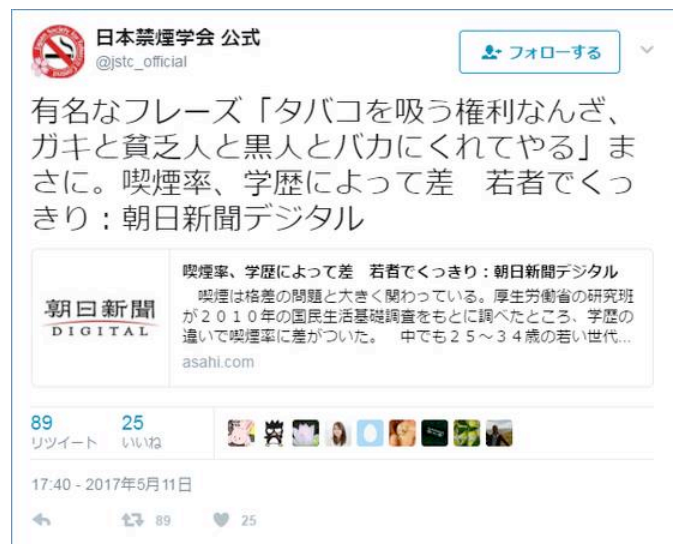
日本禁煙学会

<http://www.jstc.or.jp/> E-mail desk@nosmoke55.jp
〒162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町 30-5-201
Tel 03-5360-8233 FAX 03-5360-6736

「日本禁煙学会 公式ツイッター」の5月11日の投稿について
2017年5月21日

日本禁煙学会 理事長 作田 学

2017年5月11日、日本禁煙学会公式ツイッター (@jstc_official) は以下の投稿を行った。



この投稿は、最近のわが国における喫煙率調査の結果が、米国のタバコ会社重役の過去の侮蔑的な発言：「We reserve that right for the poor the young, the black and the stupid (タバコを吸う権利なんざ、ガキと貧乏人と黒人とバカにくれてやる)」と符合することを指摘して、喫煙対策の重要性を訴える趣旨で行われたものである。

しかしながら、この投稿に対して、禁煙学会は「差別的表現」で喫煙者を侮辱している、禁煙学会のスタンスがこの「差別的表現」に現れている、この「差別的表現」はタバコ産業の重役が行ったものであることは知っているが、あたかも禁煙学会の見解のように誤解されているなどのレスポンスが寄せられた。

日本禁煙学会は、本ツイッターの投稿とそれに対するレスポンスに関して、以下の見解を表明する。
背景情報として、タバコ会社が、貧しい人や黒人などのマイノリティー、教育歴の浅い者等を対象としてタバコを普及させるというマーケティング戦略を世界中で展開してきたことがある¹⁾。

1. 本文の「有名なフレーズ」は外国のタバコ会社重役が過去に行った発言である²⁻⁶⁾。
2. 日本禁煙学会がこの趣旨の発言を行った事は一切ない。
3. しかし、今回のツイッターの投稿が、前記のレスポンスを招来したことについては、今後の広報活動上の反省材料としたい。

以上

参考

出典 # 1

悪魔のマーケティング。タバコ産業が語った真実 日経B P社(2005/1/20)

出典 # 2 YouTube より動画

『Tobacco Wars episode 3』

"Smoked Out"

<https://www.youtube.com/watch?v=MOUk3WQjlbs>

2分45秒から RJレイノルズ社の役員の言葉を云っています。

日本語音声入り 『煙たがられるタバコ』 0分40秒から

<https://www.youtube.com/watch?v=2SRIPLF6nhk>

<https://www.youtube.com/watch?v=EXPQmURONGg>

出典 # 3 NY Times

<http://www.nytimes.com/1993/11/28/opinion/in-america-tobacco-dollars.html>

One of the executives said, sure, take them all.

Mr. Goerlitz, surprised, said, "Don't any of you smoke?"

The executive shook his head. "Are you kidding?" he asked. "We reserve that right for the poor, the young, the black and the stupid."

出典 # 4

『悪魔のマーケティング』表紙・帯紙にあり

以下よりDL可能 3MB

<http://xfs.jp/gJTmx>

第一章・p37に邦訳が出ています。

出典 # 5 Dave Goerlitz

http://www.sourcewatch.org/index.php/David_Goerlitz

↑UCSFのTI内部文書図書館にリンクします。

出典#6 伊佐山弁護士 「現代タバコ戦争」 岩波新書 1999/5

125～127頁に、以下の文章が掲載されています。

これは、伊佐山氏が、1989年7月、ボストンのノースイースタン大学で開催されたR. デイナード教授主催の「第5回たばこ会社の法的責任を問う法律家会議」に出席した際、ゴーリッツ氏がこれまでのたばこ会社の宣伝マンから転向しての証言で、直接、会場で以下の発言を聞いていたのです。

「ウインストンの宣伝マンで有名なデービット・ゴーリッツ（当時39歳）」が特別講師として壇上に上がり転向を明らかにした」という書き出しで、31歳から「ウインストン」の宣伝マンとなった。

（中略）7年間、タバコ会社のモデルとなって活躍していたが、38歳のときに、歯ぐきから出血して2回も手術した。（中略）

Mr.ウインストンであった7年間、年10万ドルの報酬を受けていたといい、他の宣伝マンの誰も本当には喫煙するものはいないと付け加えた。

そしてレイノルズ幹部と話したときそのうちの一人が「あんなものは吸わない」と言ったので、その理由を尋ねると、彼は「我々はただ売るだけだ。若者や貧しい人、ブラック、そして馬鹿な奴に買わせるのだ」

(We just sell it. We reserve it to young, poor, black, and stupid people) と答えたという。